

【 5月2日(水) 室蘭民報(朝刊) 12面 】

★ 糖尿病の薬物療法に理解深める



製鉄記念室蘭病院（前田征洋病院長）の「糖尿病教室」が4月26日、室蘭市知利別町の同病院がん診療センターで開かれた。市民ら約50

人が「糖尿病の薬物療法」について理解を深めた＝写真。

昨年4月に新設した「糖尿病内科」に関連する取り組み。薬剤部医薬品情報室薬剤師の加藤郁美さんがインスリンの「働きが悪くなる」「分泌が遅れたり、量が少ない」「十分に分泌されない」の各症状で「内服薬が異なり、使用回数やタイミングが違う」と強調。

高田明典糖尿病内科長は、糖尿病診療ガイドラインに示された低い値を目標にして、薬物治療を行うメリットへの理解を促した。

（松岡秀宜）